

顧客の収益最大化を実現する営業ソリューションプロバイダー

株式会社ダイレクトマーケティングミックス

2024年12月期 第3四半期決算説明資料

2024年11月14日

DmMiX
(7354)

2024年12月期第3四半期決算ハイライト（7～9月）

■ 第3四半期（単体）の業績

売上50億円、営業利益1.2億円の着地

営業利益については、8月14日に発表した「2024年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」記載の、一部の採算性の低い拠点の撤退に伴う固定資産の減損損失約3億円を一時費用として本四半期に計上

■ 今後の拠点戦略

キャパシティの最適化を目的とした、コロナ関連業務の急増に伴い増強した拠点整理は、本四半期で完了

■ 業績予想

利益が当初想定よりも好調に推移したことに加えて、一部の採算性の低い拠点の撤退に伴う固定資産の減損にかかる損失計上額が確定したことから業績予想を修正

■ 事業環境

通信インフラセクターについては、通信キャリアのグループ再編に端を発した費用見直しは一巡し、受注は回復傾向

Web/ITセクターにおいては、既存の事業者（キャッシュレス決済やeKYC）が好調に推移している中、新規領域の開拓も進展

2024年12月期第3四半期（7~9月） P/L

- 売上収益：コロナ関連案件の完全終了に伴うインバウンド業務の大幅縮小を主要因とし、前年同期比約13億円の減収
- 営業利益：一部の採算性の低い拠点撤退に伴う減損損失（約3億円）を計上するも、前年同期に対して増加で着地

(百万円)	2023/12	2024/12	
	3Q (7~9月)	3Q (7~9月)	
	実績	実績	前年同期比 (増減率)
売上収益	6,315	5,015	△1,300 (△20.6%)
営業利益	△33	123	+156 (-)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△106	36	+142 (-)
EBITDA*1	377	798	+421 (+111.7%)

*1 EBITDA=営業利益+減価償却費+償却費+固定資産減損・除却損

2024年12月期第3四半期（累計） P/L

- 売上収益：インバウンド業務は大幅縮小となったが、通期予想に対しては堅調な推移
- 営業利益：拠点撤退に伴う一過性費用を計上するも、8/14公表の通期予想に対して順調に進捗

(百万円)	2024/12 3Q（累計）		
	実績	8/14公表通期業績予想 (2/13公表予想)	進捗率 ^{*2} (進捗率 ^{*3})
売上収益	15,721	21,000 (21,000)	74.9% (74.9%)
営業利益	1,179	1,200~1,500 (1,000)	98.3~78.6% (117.9%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	604	700~900 (655)	86.2~67.1% (92.2%)
EBITDA ^{*1}	2,600	2,600~2,900 (2,451)	100.0~89.7% (106.1%)

*1 EBITDA=営業利益+減価償却費+償却費+固定資産減損・除却損

*2 2024/12通期業績予想（8/14公表）に対する進捗率

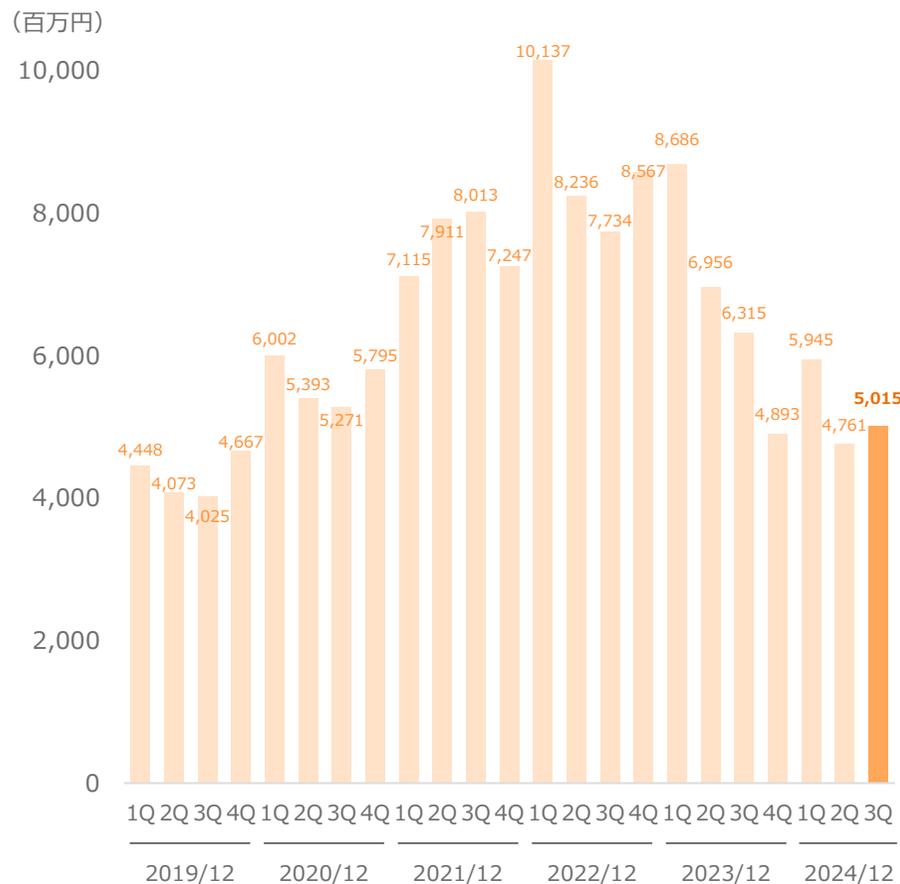
*3 2024/12通期業績予想（2/13公表）に対する進捗率

四半期業績

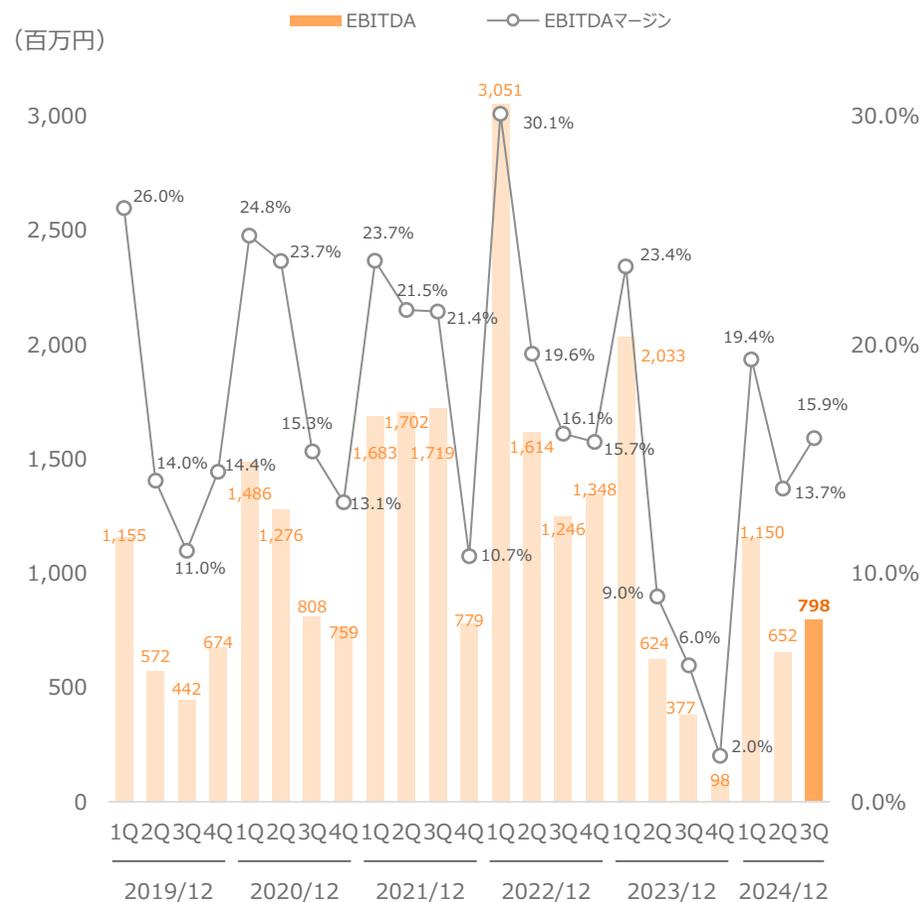
■ 売上収益：通信インフラクターの需要回復に加え、スポット業務の貢献もありQoQで増収

■ EBITDA：YoY、QoQともに伸長

連結売上収益の四半期推移



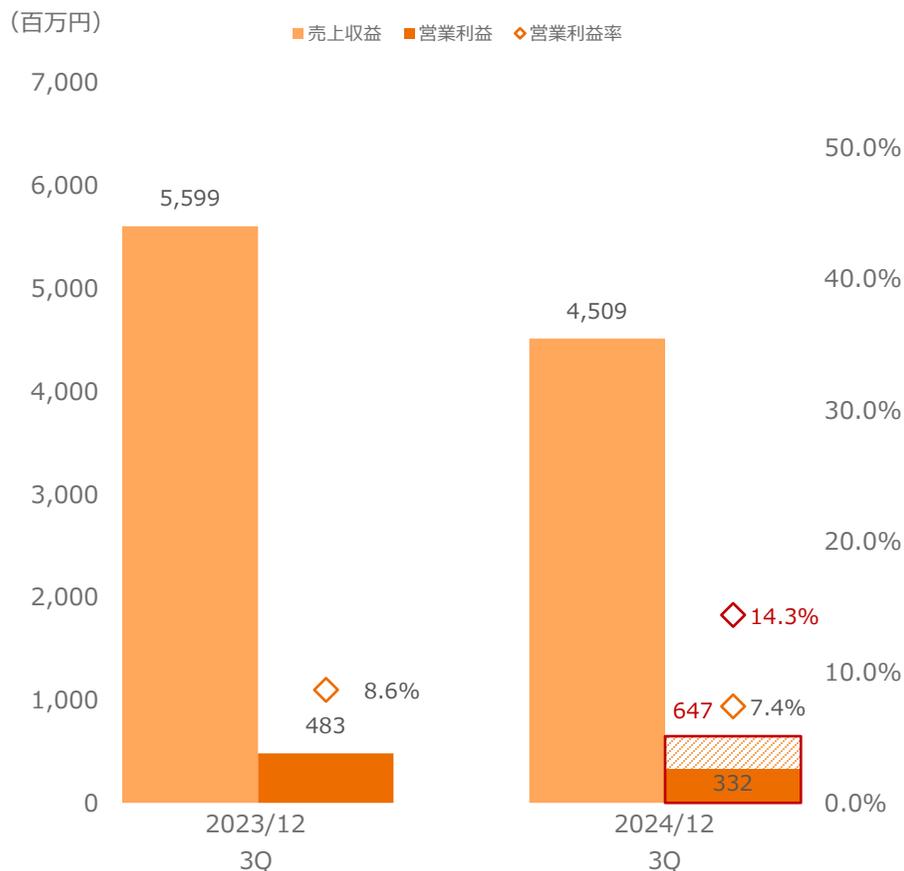
EBITDA・EBITDAマージンの四半期推移



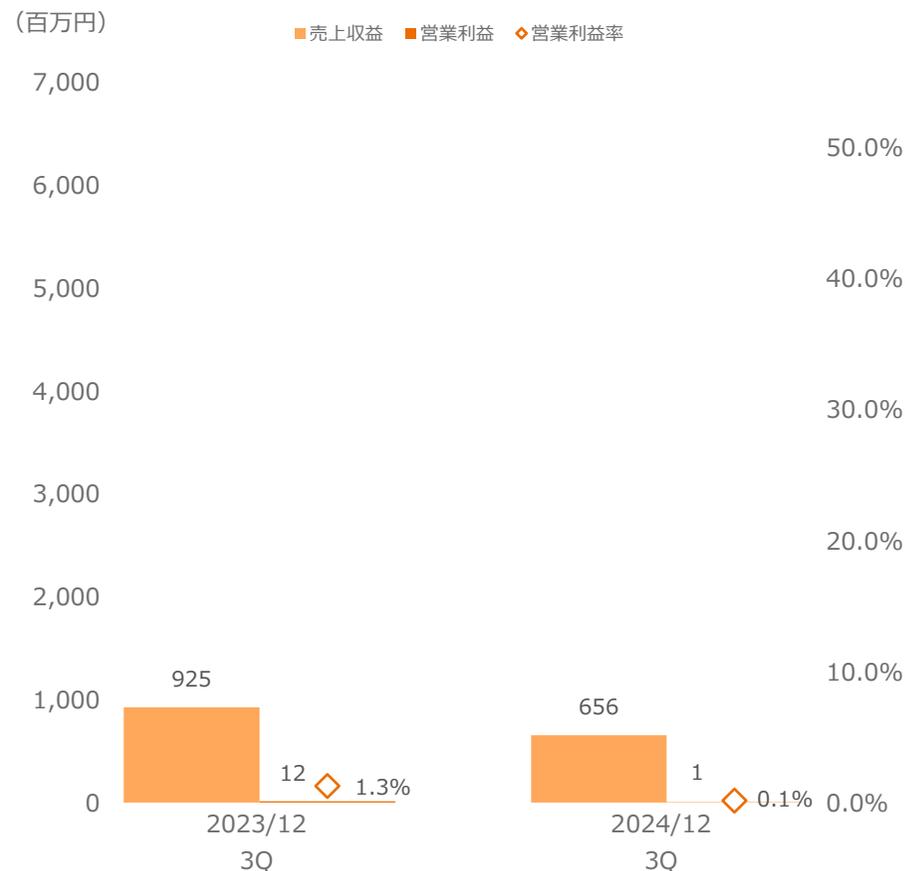
2024年12月期第3四半期（7~9月）セグメント別業績

- マーケティング事業：売上収益は前年同期比△1,090百万円（△19.5%）、営業利益は前年同期比△150百万円（△31.1%）
一過性費用除きでは、営業利益は前年同期比+164百万円（+34.0%）
- オンサイト事業：売上収益は前年同期比△269百万円（△29.1%）、営業利益は前年同期比△11百万円（△91.9%）

マーケティング事業



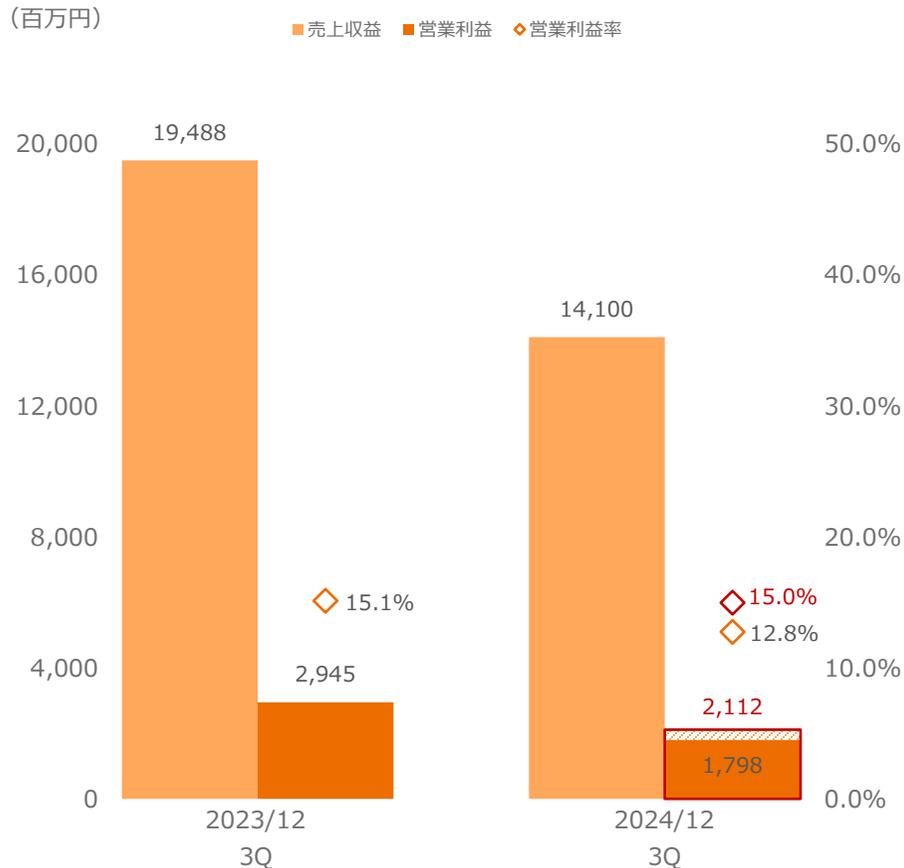
オンサイト事業



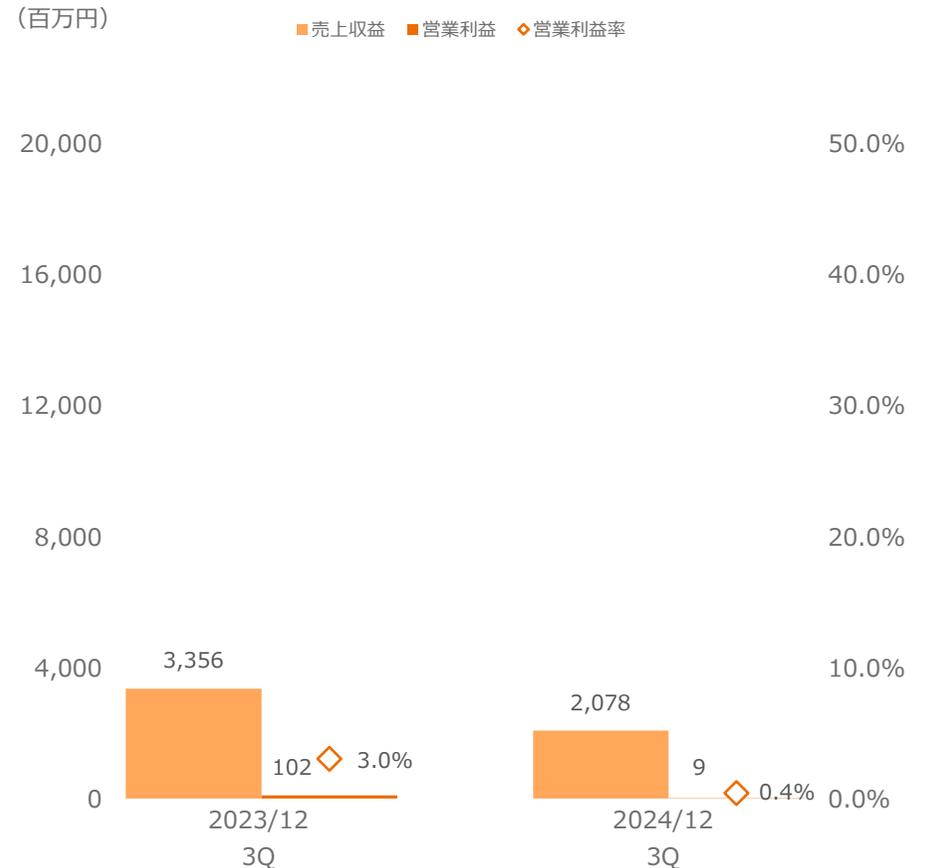
2024年12月期第3四半期（累計）セグメント別業績

- マーケティング事業：売上収益は前年同期比△5,388百万円（△27.6%）、営業利益は前年同期比△1,147百万円（△38.9%）
一過性費用除きでは、営業利益は前年同期比△832百万円（△28.3%）
- オンサイト事業：売上収益は前年同期比△1,278百万円（△38.1%）、営業利益は前年同期比△93百万円（△91.4%）

マーケティング事業



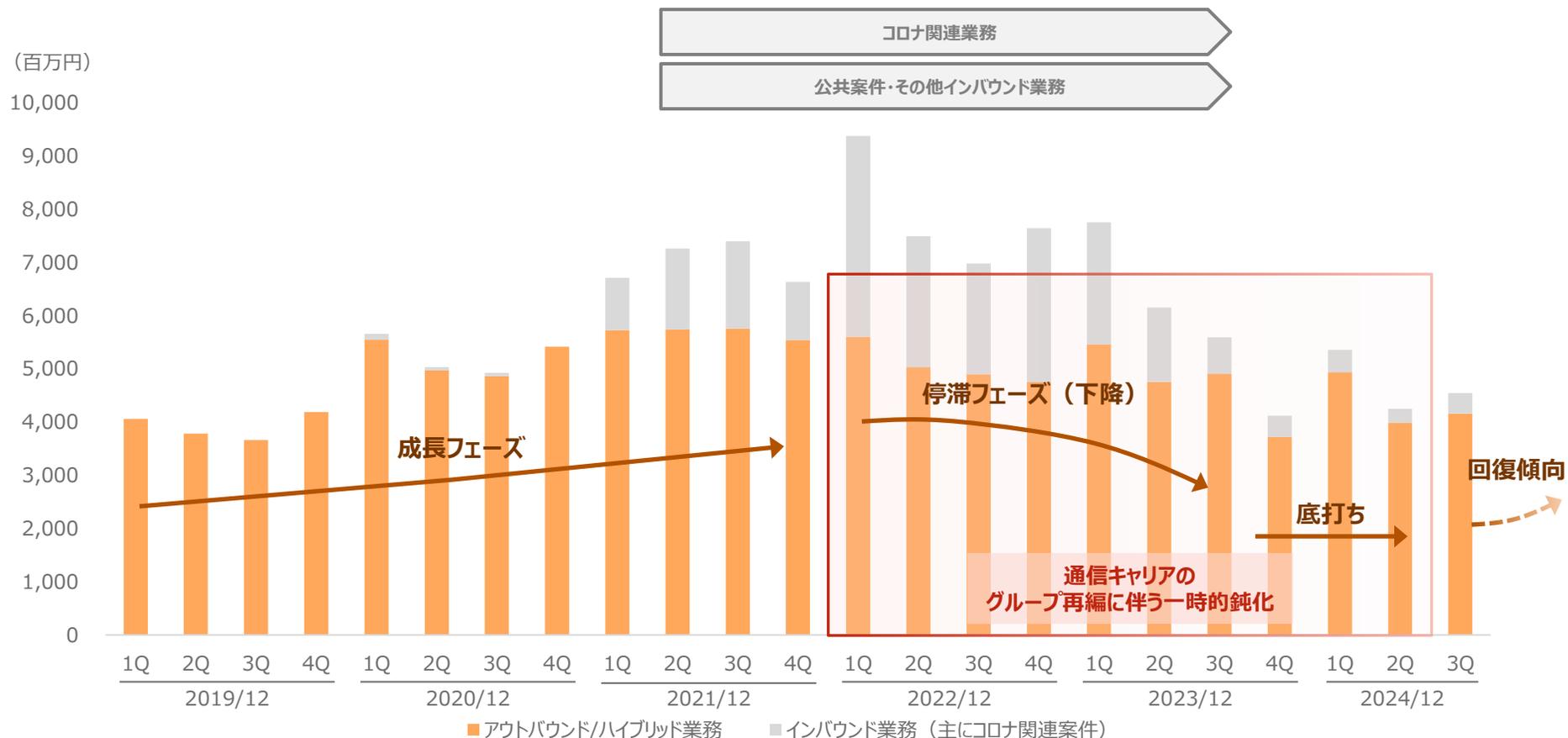
オンサイト事業



マーケティング事業における受注トレンド

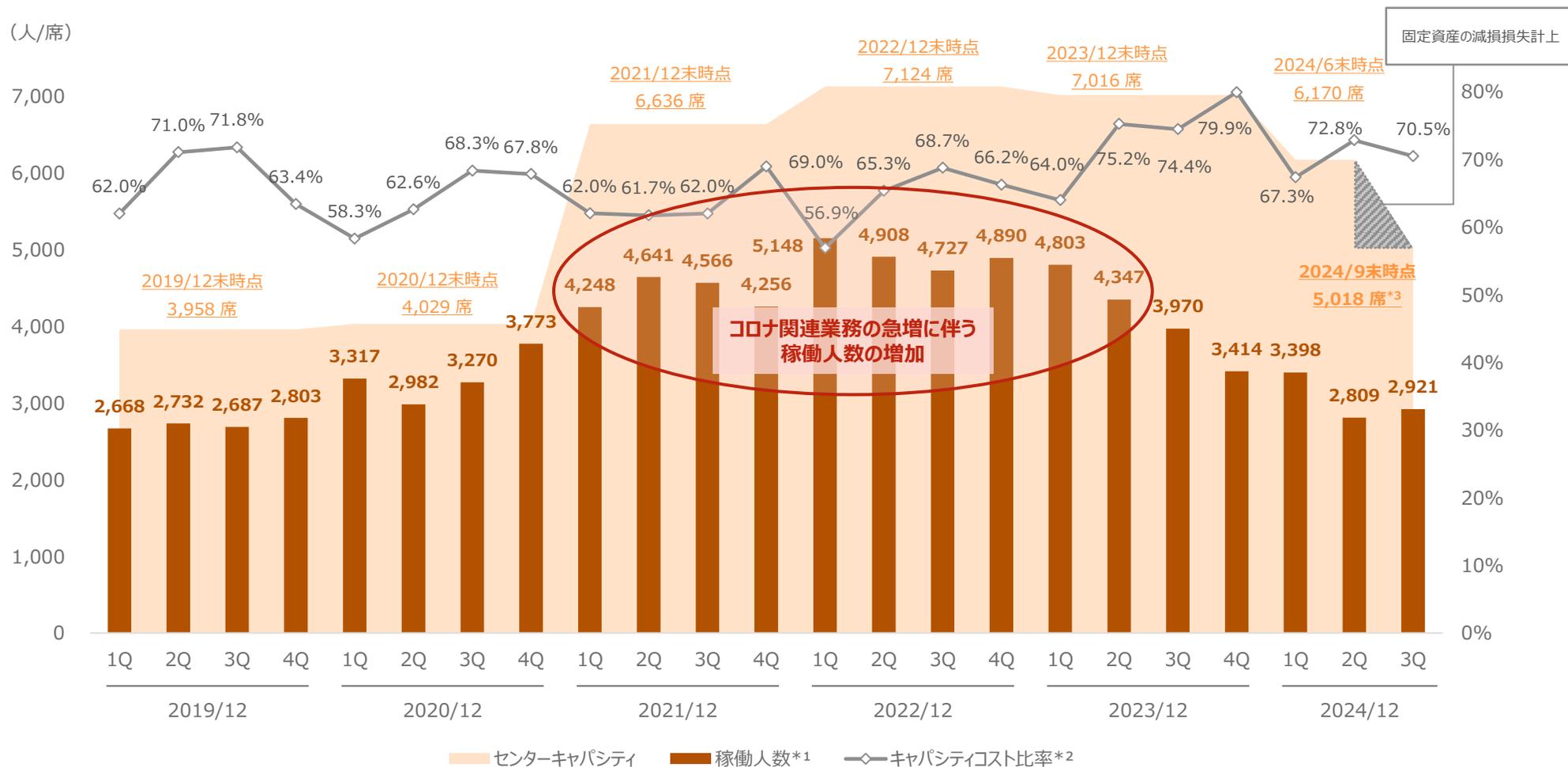
- アウトバウンド/ハイブリッド業務は、通信キャリアのグループ再編等を背景とした一時的な停滞フェーズは底打ちし、需要は徐々に回復傾向
- インバウンド業務は、事業選別を行い、採算性の高い業務に注力する方針

アウトバウンド/ハイブリッド業務、インバウンド業務の売上推移



キャパシティコスト比率の推移

- コロナ関連業務の急増に伴い増強したキャパシティの最適化を目的とした拠点整理は完了
- 今後も事業状況に合わせて適時適切なキャパシティ及び人員コントロールを実施し、収益性の改善を目指す



*1 マーケティング事業の稼働人数（フィールドセールス等の外部稼働人員を含む）

*2 キャパシティコスト比率 = (人件費 + 人材派遣料 + 地代家賃 + 賃借料 + 減価償却費及び償却費) ÷ 売上収益。なお、各数値はマーケティング事業（セグメント間取引を含む）のものを使用

*3 減損処理を行った固定資産の席数を除いた数値

2024年12月期第3四半期 B/S及びC/F

- 拠点撤退に伴い非流動資産が減少
- 投資キャッシュフローは新規の投資が限定的であることに加え、拠点整理に伴う敷金の返金も影響し、プラスで着地

連結B/S

(百万円)	2023/12月末	2024/9月末	増減
資産合計	26,175	24,771	△1,404
流動資産	8,381	8,023	△358
非流動資産	17,794	16,747	△1,046
のれん	11,391	11,391	-
負債合計	13,090	11,246	△1,844
流動負債	7,436	5,835	△1,601
非流動負債	5,654	5,411	△243
資本合計	13,085	13,525	+440
親会社の所有者に 帰属する持分合計	13,085	13,525	+440
負債及び資本合計	26,175	24,771	△1,404

連結C/F

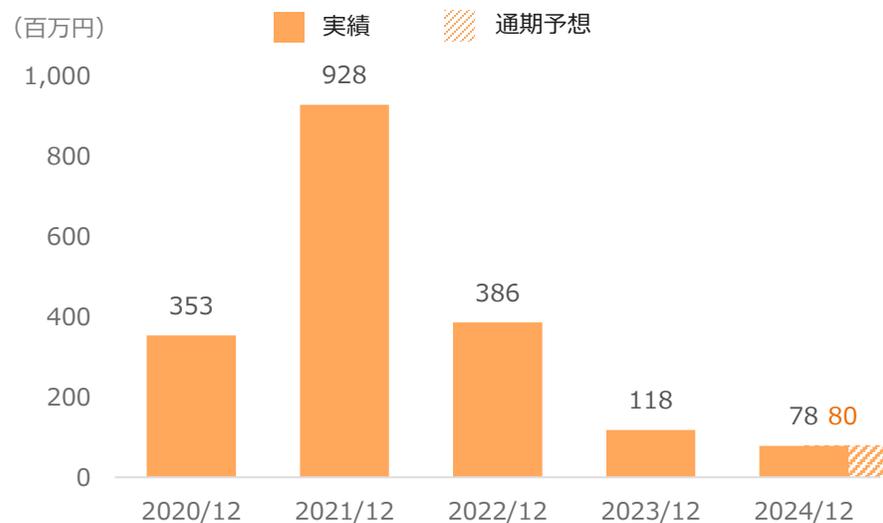
(百万円)	2023/12 3Q	2024/12 3Q	増減	2023/12 通期 (参考)
営業キャッシュフロー	1,649	924	△725	1,612
投資キャッシュフロー	△1,202 ^{*1}	50	+1,253	△1,234
財務キャッシュフロー	△2,995	△644	+2,351	△3,527
フリーキャッシュフロー	446	974	+528	378

*1 主に子会社取得による支出によるもの

投資計画及び進捗

設備投資

- 突発的な工事費用の発生により、建物附属設備費用が計画をやや上振れたものの、全体としては当初計画通りの進捗

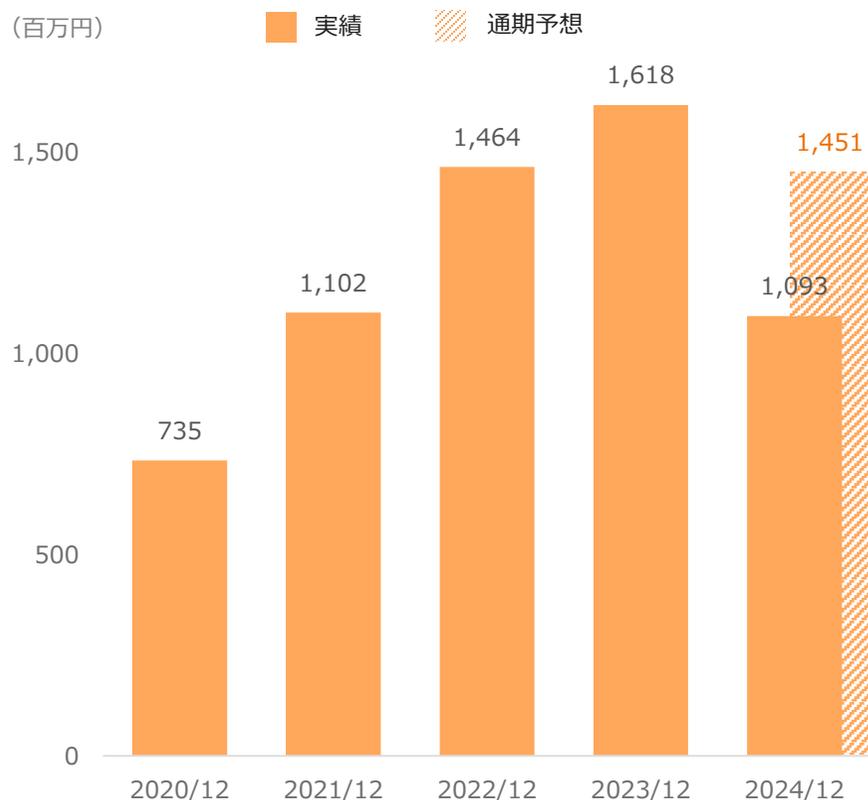


主な設備投資内訳

(百万円)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
	実績	実績	実績	実績	3Q実績	通期予想
建物附属設備	177	492	165	60	20	4
工具器具備品等	165	405	213	57	56	75
ソフトウェア	11	31	8	1	2	0

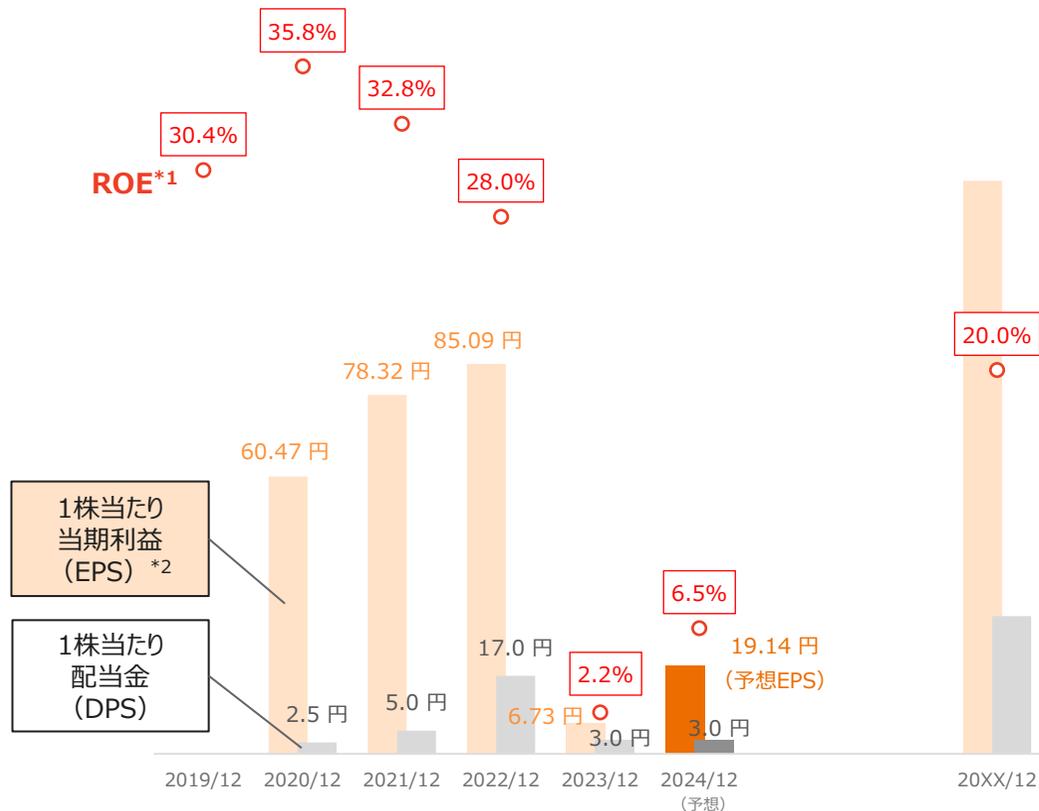
減価償却費及び償却費

- 2024/12期は2021/12期の大規模設備投資の償却が一巡するため、微減の予想



資本政策について

主な指標の推移



方針

- 短中期的には、再成長に向けた投資フェーズという前提において**ROE10%**以上の実現、中長期的な投資回収フェーズにおいては**20%台**の実現を目指す
- 自己株式取得を含めた**総還元性向40%**の持続的な実現を目指す

*1 ROE=当期利益÷期中平均自己資本

*2 EPS=当期利益÷期中平均株式数（自己株式を除く）。なお、予想EPSは2023年12月期末の発行済株式数（自己株式を除く）を用いて算出しております

*3 当社は2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、EPS及びDPSは当該株式分割を考慮した数値を表示しております

2024年12月期決算見通しの修正

(百万円)	2024/12	2024/12			主な増減要因
	8/14公表通期業績予想 (2/13公表予想)	修正後 通期業績予想 (11/14公表)	増減金額 ^{*3} (増減金額 ^{*4})	増減率 ^{*3} (増減率 ^{*4})	
売上収益	21,000 (21,000)	21,000	0 (0)	0% (0%)	
営業利益	1,200~1,500 (1,000)	1,500	+300~0 (+500)	+25.0~0% (+50.0%)	✓ 売上収益 ・ 前回公表予想から変更無し
税引前利益	1,160~1,460 (1,000)	1,460	+300~0 (+460)	+25.9~0% (+46.0%)	✓ 各種利益 ・ 営業利益が当初想定よりも好調に推移したことに加えて、一部の採算性の低い拠点の撤退に伴う固定資産の減損にかかる損失計上額が確定したことから、業績予想を修正
当期利益 ^{*1}	700~900 (655)	880	+180~△20 (+226)	+25.7~△2.2% (+34.5%)	
EBITDA ^{*2}	2,600~2,900 (2,451)	3,228	+628~328 (+777)	+24.2~11.3% (+31.7%)	

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 EBITDA=営業利益+減価償却費+償却費+固定資産減損・除却損

*3 2024/12通期業績予想 (8/14公表) に対する増減金額・増減率

*4 2024/12通期業績予想 (2/13公表) に対する増減金額・増減率



【ディスクレーマー】

本資料は、現在当社の経営陣が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提（仮定）に基づいて作成しており、当社は本資料の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

また、予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明が含まれていますが、実際の業績は様々なリスクや外部環境の変化、不確定要素に左右され、将来に関する記述・言明に明示または黙示された予想とは大きく異なる結果となりうるため、これら将来に関する記述・言明に全面的に依拠することのないようご注意ください。

なお、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来に関する記述・言明を見直して改訂するとは限らず、当社はそのような義務を負いません。